

もとす教道研会報 第28号 平成30年7月18日

発行所:岐阜もとすモラロジー事務所
Tel/Fax 058-324-7756

総会・講演会を開きました!

平成30年6月23日(土)午前10時、北方町立北方西小学校のひまわり教室において、もとす教育者道徳研究会総会並びに講演会を開くことができました。当日は12名のご参加でした。他の行事と重なり、欠席の連絡が多かったのが惜しまれます。ご多用中にも拘らず参加していただきました皆様、誠に有難うございました。

総会の進行を安藤副会長、挨拶と役員紹介を森山会長、急遽代理で昨年度会務報告等を長谷川理事、監査報告を神原監査、今年度の活動案・予算案を宮川監査が行い、それぞれ承認されました。最後は、神谷副会長の挨拶により総会が無事終了しました。

森山会長の挨拶要旨「この会は旧本巣郡2市1町にお住まいかお勤めの方でつくる(生き方を考える)会です。各市町の教育委員会はじめ校長会、もとす事務所など多くの方々に支えられ、今年10年目を迎えることができました。小学校の道徳が教科としてスタート。現場の先生方には、是非子どもたちと授業を楽しんでもらうことを望みます。道徳の授業は子どもを見直したり驚かされたりする醍醐味があります。皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます」



左から 安藤副会長、長谷川理事、神原監査、宮川監査、神谷副会長

平成30年度 もとす教育者道徳研究会役員・理事

顧問	林 明夫	北方町教育委員
会長	森山 政紀	岐阜県モラロジー協議会事務局長
副会長	上水流弘美	瑞穂市立本田小学校教頭
	大野 琴美	本巣市立弾正小学校教頭
	安藤 理加	北方町立北方小学校教頭
	神谷 肇	岐阜もとすモラロジー事務所事務局長
書記	吉田 光宏	北方町立北方西小学校教諭
会計	大塚 康正	北方町立北方南小学校教諭
監査	宮川 和文	北方町立北方小学校教諭
	神原 重典	岐阜もとすモラロジー事務所顧問
理事	坂野 美恵	瑞穂市立本田小学校長
	長谷川昇児	北方町北方西小学校校長
	森 健治	岐阜もとすモラロジー事務所教育者担当

※今年度、理事枠の本巣市道徳部会顧問は空席

平成30年度 今後の主な活動計画

- 8月 6日(月) 第55回岐阜県教育者研究大会瑞穂会場
13:00 瑞穂市総合センターあじさいホール
※申込連絡者の参加費(千円)を岐阜もとす事務所が負担します。
- 8月20日(月) 県道徳部会夏季ゼミ 各務原市産業文化センター
- 12月22日(土) 役員・理事会 17:00 北方西小学校
- 2月23日(土) 実践研究会 10:00 北方西小学校
- ※市町を代表して道徳教育の実践を発表してくださる方を募集します。自薦・他薦大歓迎(今年度は、特に瑞穂市、北方町)
- ◎会報を年3回(7月、9月、3月)発行・配布の予定です。

講演：教育は祈りである

講演者：子安 一徳氏

(岐阜県教育者道徳研究会会長)

生き方の指針となるご自身の貴重な体験を、穏やかに、しかし熱く語りかけていただきました。

授業から学習の成立へ

中学校教師としてスタートしました。 **講演中の子安 一徳氏**

初任校では幾つもの主任を任されたり、専門の理科の他幾つもの教科を教えたりと上々の始まり。生徒が授業を喜んでくれました。受験校として有名な中学校でも授業がよく分かると生徒に評判で、自信満々でした。そんな私が、教師として大転換期を迎えることになります。研修校の小学1年生の先生となり、授業公開を控える中、子どもたちがちっとも授業に集中してくれません。焦りました。夜も寝られず、先輩の指導も謙虚に受けました。『歎異抄』の「祈りとは神や仏の声なき声を聴くことである」が学びとなりました。こうした辛い経験を通して獲得したのが、五感をフルに使ってのブラックボックス手法でした。私は、子どもたちとの「学習」の面白さを知ったのです。知識を授ける「授業」から進んで分かろうとする「学習」への転換です。学習を豊かにするための訓練にも努めました。話法「そう思います。なぜかという…」、関連付け「事実と考えたことで」、速さを競う「前の自分と比べて…」等々。特に大切にしたのは、机間巡視などでの声かけや肩をポンポンして子どもたちに喜びを与えることでした。

育てて送り出すことこそ使命

校長としては先生方に喜びを与えることが使命です。授業後に個人指導を行いました。週報「教育は祈りである」は先生方へのエールとなりました。地域の人材を講師に招いて、子どもたちや先生方への



良き刺激となりました。地域の講師の方にとっても学校との関係が深まり、力強い応援団になってくださいました。人事面では、求められた先生は全て異動させました。自らの学校で育てて送り出すことこそ校長の使命と考えました。「自分以上の人材を2人以上育てなさいよ」と言って、先生方を送り出しました。

大垣教育長時代の話としては、小学校教師に専門性をつけること、中学校教師には指導技術をつけることに力を注ぎました。不登校の子に「体育、国語が苦手」の特徴を感じたので、学習指導要録等の分析を通して、彼らの指導・対応に取り組んでいただきました。

《利他に生きる》人になれ

最後に道徳教育について思うこと。まずは、道徳を指導する先生の品性を高めることが大切です。「絶えず学び続ける」教養人になって欲しいです。道徳とは何かと問われたら、最終的には《利他に生きる》ことであると申し上げたい。自分のためばかりを考えると品性の向上は望めません。他人が喜ぶことに努力を傾注する人になることが生き方として最も大切なことだと思います。



感想発表を通して子安講師にお礼の気持ちを伝える参加者の皆様

1時間の講演時間がとても短く感じました。きっと子安講師の真摯なお人柄と生き方に感化されたから、集中できたのだらうと思います。感謝申し上げます。講演会の進行を**大野副会長**、講師紹介・お礼の言葉を**森山会長**が行いました。

【構成・森山】

